

目次

新版まえがき

序章 自己決定権と人間の尊厳

生命倫理の原点から

1 自己決定権

2

自己決定権とは 問い直される自己決定権

2 人間の尊厳

11

二つの人間の尊厳観 法・倫理原則としての人間の尊厳 人間の尊厳
への関係論的アプローチ

第1章

人工生殖

生命の神秘への挑戦

1 生命の誕生と不妊

20

生命の成り立ち 不妊治療と排卵誘発剤

2 様々な人工生殖技術 23

人工授精 体外受精 代理懐胎

3 人工生殖が問いかけるもの 51

人工生殖技術と人格 生殖の意味 残された問題

第2章 人間のクローン コピーされる「いのち」

1 ドリー誕生の衝撃 62

ドリー誕生とその意味 各国の対応

2 クローン技術の夢と野望 72

科学技術と社会 クローニングが考えられるケース

3 なぜクローン人間をつくってはいけないのか 80

倫理的直感に反するからか 社会秩序を混乱させるからか 危険性があるからか 人工生殖の枠組みはどこまで通用するか 人間の尊厳に反するからか クローニングと家族倫理 子どもの誕生を目的としたクローニング——多能性細胞樹立 iPS細胞・ゲノム編集と、いのち・子ども・身体

第3章

人工妊娠中絶

産まない権利が、生まれる権利か

1 中絶問題の歴史

104

古代から中世まで

社会主義国と北欧諸国

現代における動き

2 各国の現行中絶法と中絶の実態

110

各国の現行中絶法

各国の中絶の実態

3 日本の中絶の歴史と中絶法

118

中絶の歴史と堕胎罪

中絶規制法

4 中絶は認められるか

124

胎児の生命権

女性の自己決定権

残された問題点

第4章

医療の法と倫理

患者を支える医療と看護

1 患者の権利とは

140

患者の権利の歴史

患者の権利の内容

医療行為と法

2 ガン告知とホスピス 154

ガン告知の現状 ガン告知をめぐる裁判と文化 ガン告知のあるべき
 姿 ホスピス医療の理念と実際

3 看護の倫理 168

ナースング・アドボカシーの倫理 ケア倫理 患者の何を擁護するの
 か 「患者の擁護者」としての看護師に求められること

第5章

安楽死・尊厳死

生命の尊重と人間の尊厳

1 安楽死・尊厳死とは 178

安楽死とは 尊厳死とは

2 安楽死の倫理と法 186

安楽死の論点 日本の安楽死裁判 安楽死に関する立法

3 尊厳死の倫理と法 199

尊厳死の論点 尊厳死をめぐる裁判 尊厳死に関する立法

第6章

脳死・臓器移植

生と死のはざま

1 脳死とは何か

219

脳死とは 脳死の概念 各国の現状

2 臓器移植法

227

臓死の法理 立法までの経過 旧「臓器移植法」の骨子 改正「臓器移植法」の問題点

3 脳死説は認められるか

239

脳死説をめぐる賛否論 脳死説の合理性

4 なぜ脳死・臓器移植は受け入れられないのか

246

和中心臓移植事件 日本人の死生観と脳死・臓器移植 残された課題

主要参考文献

259

あとがき

267

索引

- 1 不妊治療にかかる時間と費用
- 2 クローン人間の伝説
- 3 生命擁護派の殺人
- 4 東洋の「医の倫理」
- 5 日本人のポックリ信仰
- 6 記憶を持つ心臓？

138

67

175

212

245